

Info 1 調査への協力ありがとうございました 国勢調査の結果(速報値)が公表されました

令和7年10月1日を基準日として実施した「令和7年国勢調査」の調査結果(速報値)が公表されました。この結果は、国や県、そして菊川市のこれからの行政の基礎となるものです。今後、少子化対策や防災対策など、私たちの生活に欠かせない施策に役立てられます。

問い合わせ 企画政策課企画係(☎35-0900)

今回お知らせする数値は速報値となります。確定値は9月頃公表予定です。今後の情報は市ホームページ(右記)をご覧ください。



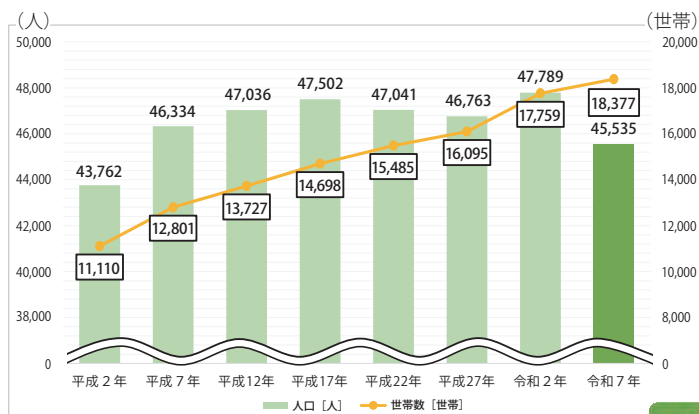
菊川市の人口は45,535人、世帯数は18,377世帯となり、前回(令和2年)調査より、人口は2,254人減少し、世帯数は618世帯増加しました。

令和2年から令和7年の5年間の人口増減をみると、県内すべての市町で人口が減少しており、全国的に人口減少・少子高齢化が進む中、菊川市においてもその傾向がみられる結果となりました。

■人口と世帯数の推移

	人口[人]	世帯数[世帯]
平成2年	43,762	11,110
平成7年	46,334	12,801
平成12年	47,036	13,727
平成17年	47,502	14,698
平成22年	47,041	15,485
平成27年	46,763	16,095
令和2年	47,789	17,759
令和7年	45,535	18,377

※平成2年、7年、12年は旧菊川町と旧小笠町の合計値になります。



Point

国勢調査の人口と住民基本台帳の人口

今回お知らせする人口は、国勢調査(令和7年10月1日時点)で調査した「実際に菊川市にお住まいだった人」の数値です。それに対し、市が普段公表している住民基本台帳の人口は「住民票が菊川市にある人」の数値になります。進学や単身赴任などで住民票を移していない場合などに両者の数値に差が生じます。本市では、住民基本台帳の人口が国勢調査の人口を上回っています。

令和7年国勢調査(速報値) 45,535人
住民基本台帳(令和7年10月1日時点) 46,846人



SDGsに取り組む企業紹介 ～持続可能な社会を実現するために～ || No.6 ||

SDGs(持続可能な開発目標)の目標17には、「パートナーシップで目標を達成しよう」が掲げられています。本市では、民間企業などと包括連携協定を結んでおり、企業などが持つノウハウが市民サービスの向上や地域の活性化に役立てられています。本市の包括連携協定先のSDGsの取り組みについて紹介します。

問い合わせ 企画政策課企画係(☎35-0900)

日本生命保険相互会社

■会社概要

日本生命グループは「人」「地域社会」「地球環境」の3つの重点領域における、さまざまなサステナビリティに関する取り組みを通じて、『誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会』の実現を目指しています。

その一環として、47都道府県と「包括連携協定」などを締結し、「健康増進」や「地域の安心・安全」をはじめ、「地域経済の活性化」「子育て支援」など、それぞれの地域・社会の課題に応じた取り組みを進めています。

市とは令和7年12月に包括連携協定を締結し、認知症サポーター養成事業への協力や「お金の健康講座」の開催などに取り組んでいます。

■地域住民のがん検診受診率向上に貢献

「ニッセイがん啓発プロジェクト」と称し、地域の皆さんへのがん啓発に取り組んでいます。

同プロジェクトの中核である「がん啓発活動」では、がん検診に関するアンケートの実施の他、回答内容に応じた情報提供や集計・分析結果のフィードバックを行っています。さらに、セミナーやイベントの開催などを通じて、がんに関する知識の普及と、がん予防・がん検診の受診に向けた行動変容を促しています。

